

TOPICS
3社会福祉法人 風の馬
特別養護老人ホーム「アリオン」季節の食事に、家庭菜園…。
充実した毎日をご提供します。

昨年12月に開設したアリオンでは、ご入居者が新たな生活をスタートさせています。そうしたお一人お一人に、ケアプランを作成し、生活を支えるとともに、毎日をイキイキと過ごしていただくため、アリオンでは、さまざまな取り組みを行って



みを行っています。たとえば4月には、季節の食材を使った、「お花見弁当」



をご提供。建物内にとりなかな季節を感じられないご入居者に、食事で季節を味わっていただきました。

また屋上の庭園では、ご入居者と職員でトマトとピーマンを栽培中。今から収穫を楽しみにする方もいらっしゃるなど大変好評です。

今後は、こうした取り組みを通じ、ご入居者が充実した毎日を過ごすことができる環境を整えるだけでなく、ボランティア育成や認知症予防の取り組みを行うことで、地域福祉の向上に貢献したいと考えております。

お問い合わせ／TEL:072-245-9640

TOPICS
4ペガサスグループ
職業リハビリテーションもう一度、働きたい方のための
職業リハビリテーションを開始。

ペガサスでは、脳卒中などの障がいによって、以前と同じように働くことが難しくなった方が、再び働くことができるよう支援する「職業リハビリテーション」を実施しています。

職業リハビリテーションでは、リハビリテーションスタッ

フが日常生活動作の自立状況を確認し、現在の機能を評価。希望する仕事内容や通勤など、就労に際し必要な機能を獲得するためのトレーニングプログラムを立案し、最適な訓練を行っていきます。トレーニングは入所と通所から選ぶことができ、終了後、ご希望の方は、ペガサスグループの職員採用試験を受けることも可能です。

現在、4名の方がこの「職業リハビリテーション」をご利用になり、就労をめざしています。これからもペガサスは、障がいをお持ちの方が望む生活に戻り、社会参加できるように、幅広い支援を行っていきます。

お問い合わせ／TEL:072-265-9030

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン



毎回好評の「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン」。

看護師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、介護職員をめざす学生の方や既卒の方を対象に、院内体験見学や就職についての説明会を開催しています。

お気軽にご参加ください。

お問い合わせ／TEL:072-265-9089

ペガサス 看護師 検索

正職員採用 私たちと一緒に働きましょう。
介護職員募集中! ——— 随時受付しています。

ペガサスでは今、介護職員を募集中です。いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ／馬場記念病院 人事課 TEL:072-265-9089



社会医療法人ペガサス
公式 Facebook ページ

<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

6月 ペガサスセミナー

心臓リハビリのお話

講師: 馬場記念病院 循環器科
医師 上津原卓人

日時: 6月25日(木)午後2時~3時
場所: 馬場記念病院 1階ロビー

6月 ペルセウス介護
支援セミナー一緒にめざそう!
快適な在宅生活
~理学療法士が行うこと~

講師: 理学療法士 浜公彦
日時: 6月26日(金)午後3時~
場所: 介護療養型老人保健施設
ペルセウス3階食堂

6月 ペガサスセミナー
和泉地域包括ケアシステム
とは何か

講師: ペガサス リハビリテーション部
主任代理 平岩敏志
日時: 6月25日(木)午後2時~3時
場所: 介護療養型老人保健施設
エクス

7月 ロイヤルリゾート
健康相談会

夏祭りを開催します

催し: 出店など
日時: 7月25日(土)午後1時~
場所: ペガサスロイヤルリゾート
※ペガサスロイヤルリゾート石津でも開催
日時: 7月10日(金)午後5時~
場所: ペガサステイサービスセンター
石津2号館

PEGASUS
NEWS

Pegasus

ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
発行/社会医療法人ペガサス
大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
http://www.pegasasu.or.jp/
編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
編集協力/HIPコーポレーション
発行/平成27年6月18日

Vol.67

ペガサスから地域の皆さまへ

総勢636名の看護職が、
患者さまを見つめています。ぬくもりのある、
ゆきとどいた看護をめざします。

患者さまにとって、一番身近な医療従事者といえば、看護職ではないでしょうか。ペガサスでは、馬場記念病院をはじめとする施設や事業所で、多くの看護職が活躍。今年4月には新たに84名が加わって、総勢636名を数えることとなりました。

医療機関や介護施設・事業所などでは、法的に看護配置基準が定められています。ペガサスでは、馬場記念病院、ペガサスリハビリテーション病院をはじめ、いずれにおいても最高ランクの人員を配置。社会医療法人ペガサス看護部として、<ぬくもりのある、ゆきとどいた看護の提供>を理念に、患者さまへの質の高い看護の提供に努めています。また、患者さまご家族との信頼関係を築き、対話のある看護を実現するために、ペガサスが描く看護師像を具体的に表し、看護職全員の意欲向上に努めています。



正本恵子看護部長



嘉陽田光子副看護部長

看護部で、法人全体で、
多様な看護教育を行っています。

ペガサスが描く看護師をめざして、新卒入職者は、まず馬場記念病院でキャリアをスタートさせ、患者さまへの看護の基本を身につけます。入職時の研修にはじまり、一年間毎月行われる集合研修、3カ月を目処とした、配属部署でのマンツーマン指導、それを引き継ぐ形のプリセプターシップ(※)、さらには法人によるペガサスマンター制度(※)等々。看護部は言うまでもなく、各施設、そして、法人全体で看護師を育て、医療の質の向上に繋げるため、さまざまなプログラムや制度を設けています。馬場記念病院の正本恵子看護部長・嘉陽田光子副看護部長は、「新人たちのペガサスへの入職動機を調べてみると、教育制度の充実を挙げる人が多くいます。<人材教育>はいわばペガサスのブランドになってきました。その期待に応え、慌てず速やかに成長へと繋げることが、患者さまへのより良い看護に繋がります。教育委員会が中心となって、新入職者はもちろんキャリア別に計画し、看護師としての知識や技術、そして看護倫理を高めるなど、社会人としての成長も図っています」と語ります。

今日では<チーム医療>の重要性が、医療において叫ばれています。ペガサスは従来よりチーム医療の高度化に取り組んでおり、言うまでもなく看護師はその一員です。今年入職した人材がチームを引っ張り、患者さまの立場に立った視点で、多職種をリードするには、少し時間がかかるかと思えます。患者さま、ご家族の皆さまには、厳しく、温かい目で、成長を見守ってくださいますようお願いいたします。



■社会医療法人ペガサスが望む看護師像

- 患者さまの立場に立てる看護師
- 主体的に学ぶ姿勢を持つ看護師
- 医療チームの一員として協働する看護師
- 一人の社会人としてのマナーや倫理観のある看護師
- 看護師としての誇りと使命感をもっている看護師

※プリセプターシップ/一人の新人看護職員に、一人の先輩看護師がつき、一年間を通じて教育指導を行うものです。

※ペガサスマンター制度/職種を問わずグループ化した新入職者5~6人の新入職者を、一人の先輩職員がお兄さん・お姉さん役として担当。悩みや相談事を解決へと導きます。

シリーズ 31 ペガサスリハビリテーションOJTセンター

質の高い医療提供をめざし、
仕事を通じて、セラピストの
さらなる能力向上を図ります。指導・教育を深め、
リハビリテーション部を
組織的にレベルアップ。

リハビリテーションとは、病気や外傷により生じた心身の障害、また、それによって引き起こされる生活面での支障に対する、ご本人と生活環境全体への総合的な医療サービスです。それを担う専門職が、セラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）であり、ペガサスグループには、今春入職者を含め120名以上が在籍しています。

ペガサスグループは、急性期病棟・回復期リハビリテーション病棟・医療療養病棟、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション・デイサービスセンターといった介護保険事業所を持ち、それらの病院・事業所にリハビリテーション部のスタッフを配属。つまり、



発症直後の超急性期から、回復期、家に帰られてからの継続ケアまで、すべてのステージでセラピストが関わらせていただいています。

<ペガサスリハビリテーションOJTセンター（以下、センター）>は、そうしたセラピストが、患者さま・利用者さまへより良いサービスを提供することを目的に平成26年11月、法人内に設立さ

れました。これまで推し進めてきた指導・教育をより深化させ、当グループ<リハビリテーション部>としての、組織的なレベルアップをめざしています。

7つの分科会形式で、
セラピストへの
多面的なサポートを模索。

センターでは、7つの分科会を設け、セラピストへの多面的なサポートを行っています。例えば<教育>では、新人・急性期・回復期・療養期・継続ケアに分類し、現場での教育に繋がる仕組みづくりに力を注いでいます。そのなかには、レベル別チャートをもとに、先輩から後輩への指導システム、チェックシートによる成長のモニタリングシステムなど、セラピストのキャリアによって、段階的にステップアップできることを図っています。そのためまずは研修会や勉強会を開くとともに、現場での指導を進めています。

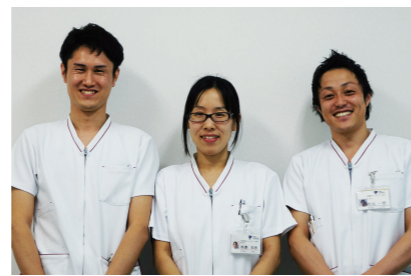
また、<研究・発表>分科会では、法人内外の学会などでの発表促進を行っています。これはセラピストにとっ

ペガサスリハビリテーション
OJTセンター

■7つの分科会

- ① 法人内留学の窓口
- ② リクルート
- ③ 研究活動
- ④ 教育
- ⑤ 痛みの評価
- ⑥ 学生実習プログラム
- ⑦ 職員相談

新人教育
馬場記念病院
ペガサスリハビリテーション病院
継続ケア



左 副センター長 金澤卓也
中 センター長 渡邊美恵
右 副センター長 松元一世

て、エビデンス（科学的根拠）に基づく医療提供の基盤づくり。患者さま・利用者さまに正しいリハビリテーションを提供できるように、現場のなかからテーマを見出だしています。

継続ケアへの視点を大切に、
患者さまが望む生活を、
取り戻していただくために。

その他にも、分科会には、患者さまの状態を正確に把握するための<痛みの評価>、回復期のセラピストが訪問リハビリテーションや通所リハビリテーション、病棟看護業務などに同席し、患者さまの実際の姿から学ぶといった<法人内留学の窓口>、実習学生のための体系的なプログラムづくり<実習プログラム>など、さまざまなアプローチを行っています。

そうしたセンターが大切に考えているのは、ペガサスグループの特長でもある<継続ケア>への視点です。前述のとおり、当グループは、超急性期から在宅までをカバーしています。そこにあっては、どの領域を担当するセラピストであっても、担当領域での回復だけではなく、常にその先の患者さまを見つめること。そして最終的には、患者さまご自身が望む生活を、いかに取り戻していただくかを、継続的なりハビリテーションで支援するという視点が欠かせません。

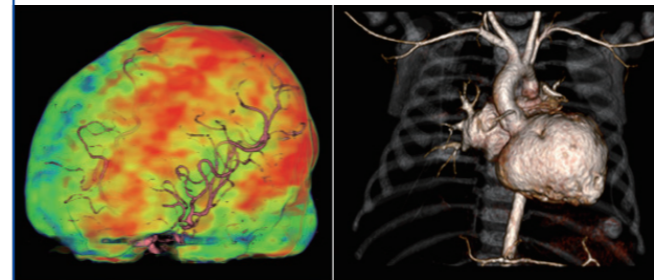
セラピスト一人ひとりの成長は、患者さま一人ひとりの質の高い生活に繋がる。こうした発想で、センターは、現場を通して、セラピストが互いに切磋琢磨し合うことができる環境づくりに、全力を注いでいきます。

TOPICS
1 馬場記念病院
臨床放射線部最新鋭の320列CTを導入し、
患者さまにやさしいCT検査を実施します。

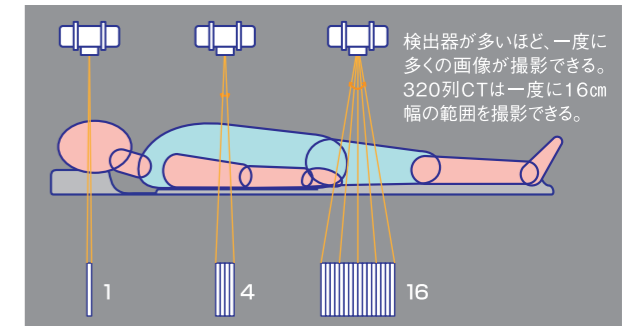
CT検査はX線を用いて、体の断面画像（輪切り）を撮影し、コンピュータで画像処理する検査です。脳や心臓、肺、腹部などの状態を見て、さまざまな病気を精密に調べることができます。

CT装置の進歩はめざましく、初期のCTは検出器（透過X線を受けるところ）が1列で、一度に1枚だけ撮影していましたが、やがて4列、8列、16列、32列、64列と、検出器の数が増大。一度に複数枚の断面画像を撮影でき、大きな臓器も短時間で撮影できるようになりました。

当院がこの6月に導入したのは、その進化の頂点に立つ



東芝メディカルシステムズ製「Aquilion ONE（アクイリオンワン）」



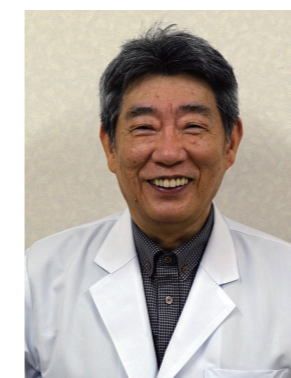
最高機種です。検出器の数は320列。一度に320枚の画像を撮影でき、撮影範囲も<16cm幅>に広がりました。この広範囲の撮影により、検査時間が飛躍的に短縮。被ばく量や造影CT検査で用いる造影剤の量も少なくなり、患者さまへの負担を大幅に軽減できます。たとえば、心臓CT検査では、1回の心拍（心臓が1回動く間）で心臓全体を撮影して、心臓や冠動脈の様子を詳細に観察できます。また、頭部CT検査では、1回の撮影でほぼ全脳を撮影でき、脳の血管や血流の分布を評価することができます。

当院では、このような320列CTの特徴を活かし、より患者さまにやさしい検査を行うとともに、精度の高い画像診断に力を注いでいく方針です。また、患者さまの症例や緊急度に応じて、最新機種と従来の64列CTの2台を適正に使い分け、安全で迅速な検査体制を整えていきます。
※320列CTは、6月22日から本格稼働します。

TOPICS
2 馬場記念病院
呼吸器科気管支鏡で診断を確定し、
患者さまに最適な医療を提案します。

馬場記念病院 呼吸器科では、6月から気管支鏡検査を始めます。昨年10月に同科医師が2名となり、従来より手厚い診療を行う体制が整ったため、満を持して、最新鋭の気管支鏡を導入。今年6月に開始の運びとなりました。

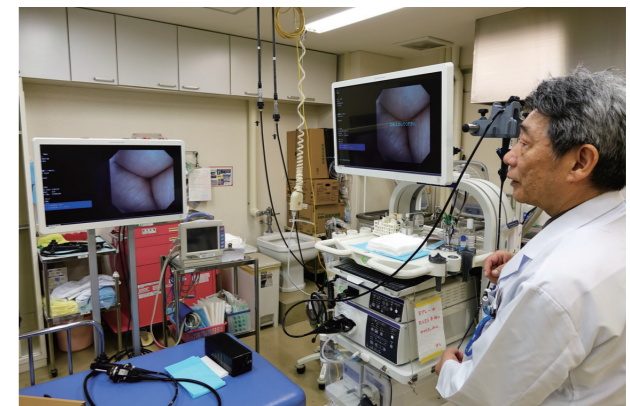
気管支鏡検査とは、内視鏡の一つである気管支鏡で、気管や肺に繋がる気管支を検査するもの。喉に麻酔を噴霧した後、直径5～6mmの細くて柔らかい管を口から入れ、



玉垣 芳則 呼吸器科部長

その先についたスコープで気管や気管支を観察したり、検査のために組織や細胞、分泌物などを採取したりします。加えて、先端に備わる装置により、異物除去、止血、洗浄といった治療も可能です。

気管支鏡検査の最大のメリットは、何といても病変部を直に見られること。実際に肺内を見たり、患者さまの



組織や細胞の一部を切り取って検査ができるため、肺に異常陰影がある際の確定診断や、血痰や咳などの症状の原因が、肺がん、結核、もしくはカビによる感染症なのかなどを調べ、確定することができます。

当院ではこれまで、肺がんや結核の疑いのある患者さまには、他の病院をご紹介してきました。しかし、これからは確定診断後、当院での治療が難しい患者さまのみを紹介。遠方への通院・入院が困難、あるいは住み慣れた地域から離れたくない患者さま、特に高齢の患者さまの「馬場記念病院で治療をしたい」というご要望に、可能な限り応えていきます。将来的には、肺がんの化学療法などにも積極的に取り組み、さらに患者さまの負担を軽減し、地域で治療を続けられる体制整備に力を注ぎます。